

第3回吉見町立学校適正規模等検討委員会会議録（要点筆記）

会議の名称	第3回吉見町立学校適正規模等検討委員会
開催日時	令和3年9月28日（火）午前8時50分から午前11時30分まで
開催場所	校内見学：東第一小学校（会議室） 東第二小学校（図書室）
出席委員	久保田秀至委員長、小池幸副委員長、杉田しのぶ委員、樋口肇委員 静政之委員、村田浩委員、塩原憲孝委員、内田哲雄委員 鈴木恭代委員、田村はるみ委員
欠席委員	新井和利委員、金澤美智子委員、木田諭史委員、峯田真奈美委員
事務局	教育長：大澤幸正、教育総務課長：矢嶋久雄、同課長補佐：西村敦 教育総務係長：柴宗樹、学校教育係長兼指導主事：木伏佑輔 同係長兼指導主事：柳澤拓也
協議事項	1. 開会 2. 委員長あいさつ 3. 議事 4. 東第一小学校（9：00～） （1）校長あいさつ （2）校内見学 （3）東第一小学校の概要説明 （4）質疑応答 5. 東第二小学校（10：30～） （1）校長あいさつ （2）校内見学 （3）東第一小学校の概要説明 （4）質疑応答 6. その他 7. 閉会
配付資料	（1）第1回及び第2回吉見町立学校適正規模等検討委員会会議録 （2）吉見町立小中学校の将来像に関する資料【資料1】 （3）吉見町の学校教育に関する保護者アンケート調査結果について【資料2】 （4）小中一貫教育に関する資料【資料3】 （5）東第一小学校 令和3年度学校要覧 （6）東第二小学校 令和3年度学校要覧

司会(事務局)	<p>1. 開会 (午前8時50分)</p>
委員長	<p>2. 委員長あいさつ 久保田委員長よりあいさつがされた。</p>
司会	<p>3. 議事 進行については、委員長をお願いします。</p>
委員長	<p>(1) 前回会議録の承認 事務局より説明願います。</p>
事務局	<p>前回(第1回・第2回)会議録については、事前に配付してございます。委員さんからの指摘はありませんでしたので、承認されたものとみなします。</p>
委員長	<p>(2) その他 その他について、事務局から何かありますか。</p>
事務局	<p>本日、配布しました資料について説明いたします。 まず、資料1「吉見町立小中学校の将来像に関する資料」ですが、第1回会議で資料として配布しました、吉見町立学校あり方研究協議会調査研究報告書の主な要点を抜粋したものです。 まず、①吉見町立小中学校の現状では、児童生徒数の推移が示されており、19年後には小・中学生共、現在の約半数まで減少するとの見込みです。 次に、②学校規模の基本的考え方には、小中学校の標準学級数及び通学距離についての国の考え方が示されています。 次に、③学級編成の基準・考え方は、1学級あたりの人数の上限を示したものです。令和3年3月に、公立小学校の学級編成の人数を40人学級から35人学級に引き下げる法改正があり、埼玉県では、令和6年度から小学校の全学年が35人学級となる予定です。 次に、④現状でのメリット及び⑤現状でのデメリットは、小規模校におけるメリット・デメリットが記載されています。吉見町の全小学校が小規模校又は過小規模校です。 なお、番号の④～⑥につきましては、文部科学省の作成した資料から引用したものとなっております。 最後の、⑧吉見町立学校あり方研究協議会からの提言は、調査研</p>

	<p>究報告書から、要点となる箇所を抜粋したものです。検討資料としてご活用ください。</p> <p>続きまして、資料2「吉見町の学校教育に関する保護者アンケート調査結果について」は、吉見町立学校あり方研究協議会の基礎資料とするため実施しました保護者アンケートの調査結果で、広報よしみ令和2年10月号に掲載されたものの写しです。</p> <p>このアンケート結果から、1学年あたりの学級数は、2～3学級が望ましいと回答された保護者の割合が約80%と高い比率を示しました。また、1学級あたりの人数は、11人～30人が望ましいと回答された保護者の割合が90%と、ほとんどの保護者が望んでいるとの結果でありました、</p> <p>最後に、資料3「小中一貫教育に関する資料」ですが、第1回会議の中で、小中一貫校及び義務教育学校に関するご質問がございましたが、分かりやすくまとめましたので、後ほどお目通しください。</p>
委員長	<p>議事につきましては、以上となります。</p>
校 長	<p>4. 東第一小学校</p> <p>(1) 校長あいさつ</p> <p>(2) 校内見学</p> <p>(3) 東第一小学校の概要説明</p> <p>本校は、明治6年に創設され、今年で148年目となる歴史と伝統ある学校であります。現在の児童数ですが、町内の小学校では最大となる169名となっており、教職員は18名が奉職しております。</p>
司 会	<p>(4) 質疑応答</p> <p>質疑応答の進行につきましては、委員長をお願いします。</p>
委員長	<p>質疑等をお受けします。</p>
委 員	<p>先生の勤務年数により、授業の質が変わることはあるのですか。</p>
校 長	<p>長く勤めている教職員の中には、本校でも核となる実力を持った者もおりますし、保護者からも信頼が厚いです。若手を含め、十分に実力を持った教職員が揃っておりますので、経験年数の差は皆で協力して、子どもたちの指導にあたっております。</p>

委員長	<p>小学校にも人事異動がありますので、その年によって差が生じるでしょうが、先生方が協力体制を築くことで、常に高いレベルを維持することは可能であるとのことでした。</p>
委員	<p>児童の席替えはどのように行っているのですか。</p>
校長	<p>各学年の担任が、児童の特性に合わせ（視力が悪い児童は前の席へ等）、毎月、席替えを行っています。</p>
委員	<p>3年生は34人と、東一小で一番多い児童数ですが、その人数では教室内が狭く感じるのではないですか。</p> <p>次の質問ですが、通学路で一番遠い児童は、自宅まで何kmありますか。</p> <p>最後の質問ですが、本日の授業では、理科担当の先生が授業をされていましたが、理科以外の授業もありますか。また、少人数指導についてはどのように取り入れていますか。</p>
校長	<p>できるだけソーシャルディスタンスを保つよう努めているため、狭く感じるかと思います。また、給食時は2班に分かれ、隣の教室も利用しています。</p> <p>通学路で一番遠い児童は、荒子、北下砂からの通学で、2km程です。</p> <p>3点目の質問ですが、1名の教員が担当外の音楽などの授業を行っております。また、少人数指導について、本校では実施しておりません。</p>
事務局	<p>参考ですが、あり方研究協議会の調査時で一番遠かったのは、小学校で約3.1km、中学校で約8.0kmでした。</p>
委員長	<p>次の予定もございますので、一旦、質疑を終結といたします。</p> <p>《学校異動》</p> <p>5. 東第二小学校</p> <p>(1) 校長あいさつ</p> <p>(2) 校内見学</p> <p>(3) 東第一小学校の概要説明</p>

校 長	<p>小規模学校ということで、合唱の練習などは2学年ごとにブロック分けし行っています。本校では、鼓笛隊の歴史が長く、これまで続けてまいりましたが、児童数が減少し、やむなく今年の運動会を最後に終了することになりました。</p> <p>児童の生活面では、6学年6学級の内、3学級が男子1名、女子5名のクラス編成で、男女比の偏りがある状況で、その男の子は6年間1人で友達の輪が広がらないなど、本来、学校での生活から学ぶべきことが学べない状況です。</p> <p>また、本校の課題として、一大行事も単独で行うことが困難な状況にあり、今年度は、修学旅行を西が丘小学校と合同で行っております。</p> <p>本校は、過小規模校で単学級ですが、複数学級であれば、クラス替えができ、子どもの発達的面からもよい環境にあると言えますし、教員同士も教材研究で自身の力を磨き上げられるなど、多くのメリットがあると思えます。</p>
委員長	<p>(4) 質疑応答</p> <p>東第一小学校と東第二小学校を見てきたわけですが、児童の多い少ないではなく、児童たちにとって何が最善なのか、委員の皆様を検討いただきたいと思います。本日、両校を見学した感想・意見を各委員よりご発言いただければと存じます。</p>
委 員	<p>東第二小は児童数が少ないこともありますが、ソーシャルディスタンスが徹底されていると感じました。</p>
校 長	<p>机の間のスペースを取るほか、児童たちには、手洗い・うがいの徹底。教職員には、教材等の消毒を徹底させています。</p>
委 員	<p>自分はこの学校の卒業生で、自分が通っていたころから既に児童数が少なく、東第一小と合併する話がありました。統合について、校長先生はどう考えますが。</p>
校 長	<p>私見ではありますが、子どもたちの学びの環境や育ちの環境を考えるのであれば、この人数では難しいと思っています。できれば、もっと多い人数のところで学ばせてあげたいと思います。</p>
委 員	<p>東二小の子供たちは元気がよく、挨拶もしっかりしていました。少ない児童数での授業もいいなと思いますが、これが6年間続き、</p>

委員	いきなり中学校という部分はデメリットなのかなと思います。 通学路で一番遠い児童は、自宅まで何kmあるのですか。
校長	江和井の一番南から通う児童が一番遠いと思いますが、東第二小の通学区域はコンパクトですので、遠いといえる距離ではないと思います。
委員	3学級で男児1名・女児5名という状況について、学校としての考えはあるのでしょうか。
校長	学年を超え、縦割りでの教育活動を多く取り入れるなどの工夫をしています。
委員	自分の子が通う学校も小規模校で、音楽の授業を上級生・下級生合同で受けていると聞いていますが、東二小でも合同で行う授業はありますか。
校長	体育はブロック（1・2年、3・4年、5・6年）で行っています。音楽については単独での授業ですが、コンクール等が行われる際は、学年合同で音楽の授業を行うなどしています。
委員	児童数が少数でも複式学級としないのは、町の考えなのでしょうか。
校長	学校側からも複式学級にならないよう要望はしています。
委員長	町としても、複式学級としないよう、町の予算で先生を置いているのだと思います。
委員	教員の育成という観点で自身の経験から、人数の多い学校では、教職員の数も多く、授業以外では特に忙しいということはありませんでしたが、次に赴任した学校は、学級数の少ない学校で、仕事の数は急に増え、教員の負担が増えました。教員の数が少なければ個々の仕事は増えますが、それだけ教員としての資質は向上すると思います。
委員	本日、授業の見学をさせていただいて、改めて先生方の目に見え

副委員長	<p>ない苦勞が伺えました。また、中学校からの視点から言わせていただければ、東二小の子どもたちが中学へ入学すれば少数派であり、友人関係を築くことが難しいというケースもあると思います。これが、小学校時代からお互い切磋琢磨できる環境があれば理想だと思います。</p>
委員長	<p>本日、この図書室に飾られた歴代の校長先生とPTA会長の写真を見て、改めて東第二小学校の歴史と伝統の重さを感じました。しかし、現状、国の標準学級人数である35人に対し、6人の児童数は、あまりに少ないと感じます。また、数年後には東二小の新入学生が2人しかいないとの推計もある以上、自分達が何かしらの策を考えねばならないと強く思います。</p>
事務局	<p>本日、2校を見学し、委員の皆様からご意見・ご感想をいただきました。現状を鑑み、学校の必要な規模はどうかという問題に対し、委員の皆様から多くの意見を出し合っていただき、解決の方向に向けて進めたいと考えています。改めて、子どもたちのためにできることを考え、実行していきたいと思っておりますので、引き続き委員皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>その他、ご質問等ございますか。</p> <p>(なし)</p> <p>特にないようですので、ここで議長の職を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p> <p>6. その他</p> <p>事務連絡になります。10月の第4回検討委員会の日程ですが、10月25日(月曜日)午後7時00分 開催の予定です。</p>
副委員長	<p>7. 閉会</p> <p>閉会あいさつ</p>